

● 日本及びその周辺での主な地震活動

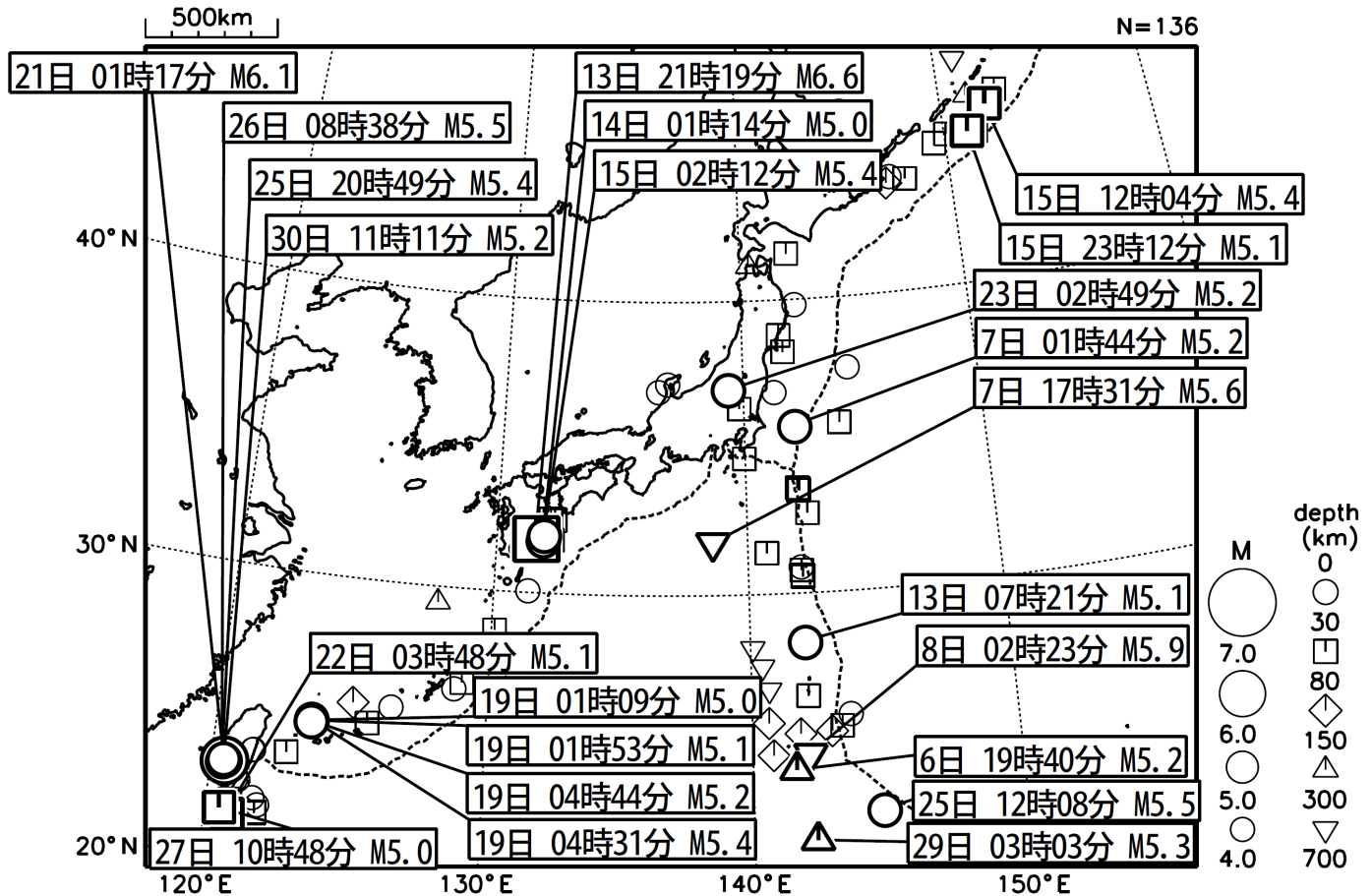


図1 令和7年1月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

13日21時19分に日向灘の深さ36kmでM6.6の地震が発生し、宮崎県宮崎市、高鍋町及び新富町で震度5弱を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度4～1を観測した。また、熊本県球磨、宮崎県南部平野部及び宮崎県南部山沿いで長周期地震動階級2を観測したほか、鳥取県及び九州地方で長周期地震動階級1を観測した。この地震により、宮崎県の宮崎港^{（注1）}で23cm^{（注2）}の津波を観測するなど、高知県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）及び津波注意報を発表した。また、気象庁では、13日21時55分にこの地震が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始したことをお知らせする南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表し、13日22時30分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討を行った。その結果、今回の地震は南海トラフ地震防災対策推進基本計画で示されたいずれの条件にも該当せず、南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる現象ではなかったことから、13日23時45分に南海トラフ地震臨時情報（調査終了）を発表した。この地震により、軽傷4人、住家一部破損2棟の被害が生じた（1月21日17時00分現在、総務省消防庁による）。

23日02時49分に福島県会津の深さ4kmでM5.2の地震が発生し、福島県檜枝岐村で震度5弱を観測したほか、東北地方南部、関東甲信地方、新潟県及び石川県で震度4～1を観測した。

令和7年（2025年）1月に日本国内で震度4以上を観測した地震は4回（2024年12月は2回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は136回（2024年12月は100回）であった（図1）。

1月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。1月中に震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震は1回であった（2024年12月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

（注1）国土交通省港湾局の観測施設である。

（注2）観測値は後日の精査により変更される場合がある。

令和7年1月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和7年1月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	1 13 21 19	日向灘	6.6	6.7	M H S T	5弱：宮崎県 高鍋町上江＊ 新富町上富田 など1県4地点 津波注意報を高知県及び宮崎県に発表 津波観測：宮崎港（注7）で23cm（注8）など、 高知県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で 津波を観測 緊急地震速報（警報）を発表 長周期地震動階級2を観測 南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表 南海トラフ地震臨時情報（調査終了）を発表 被害：軽傷4人、住家一部破損2棟（1月21 日17時00分現在、総務省消防庁による） 2024年8月8日から続く日向灘の地震活動 1月中に震度1以上を観測する地震が16回 （震度5弱：1回、震度4：1回、震度3： 1回、震度2：7回、震度1：6回）（注9）	4、58～ 80
	1 14 1 14	日向灘	5.0	-	・ ・ ・ ・	3：熊本県 産山村山鹿＊ 宮崎県 高千穂町三田井 宮崎美郷町田代＊	
	1 15 2 12	日向灘	5.4	5.4	・ ・ S ・	4：宮崎県 宮崎市松橋＊	
2	1 21 1 17	台湾付近	6.1	6.1	M ・ ・ ・	1：沖縄県 石垣市平久保 与那国町久部良 竹富町黒島	22
3	1 23 2 49	福島県会津	5.2	4.8	・ ・ S ・	5弱：福島県 檜枝岐村上河原＊ 2025年1月21日から続く福島県会津の地震活 動 1月21日から31日までに震度1以上を観測す る地震が85回（震度5弱：1回、震度4：1 回、震度3：6回、震度2：24回、震度1： 53回）（注10）	4、5、 8、9
	1 23 8 9	福島県会津	4.7	4.5	・ ・ S ・	4：福島県 檜枝岐村上河原＊	
4		「令和6年能登半島 地震」の地震活動				「令和6年能登半島地震」の地震活動 1月中に震度1以上を観測した地震が12回 （震度3：2回、震度2：2回、震度1：8 回）	12～18

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「－」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- （注7）国土交通省港湾局の観測施設である。
- （注8）津波の観測値は後日の調査で変更する場合がある。
- （注9）表中の地震回数には、14日01時14分の地震（最大震度3）及び15日02時12分の地震（最大震度4）を含み、13日21時19分の地震の欄にまとめて記載している。
- （注10）表中の地震回数には、23日08時09分の地震（最大震度4）を含み、23日02時49分の地震の欄にまとめて記載している。

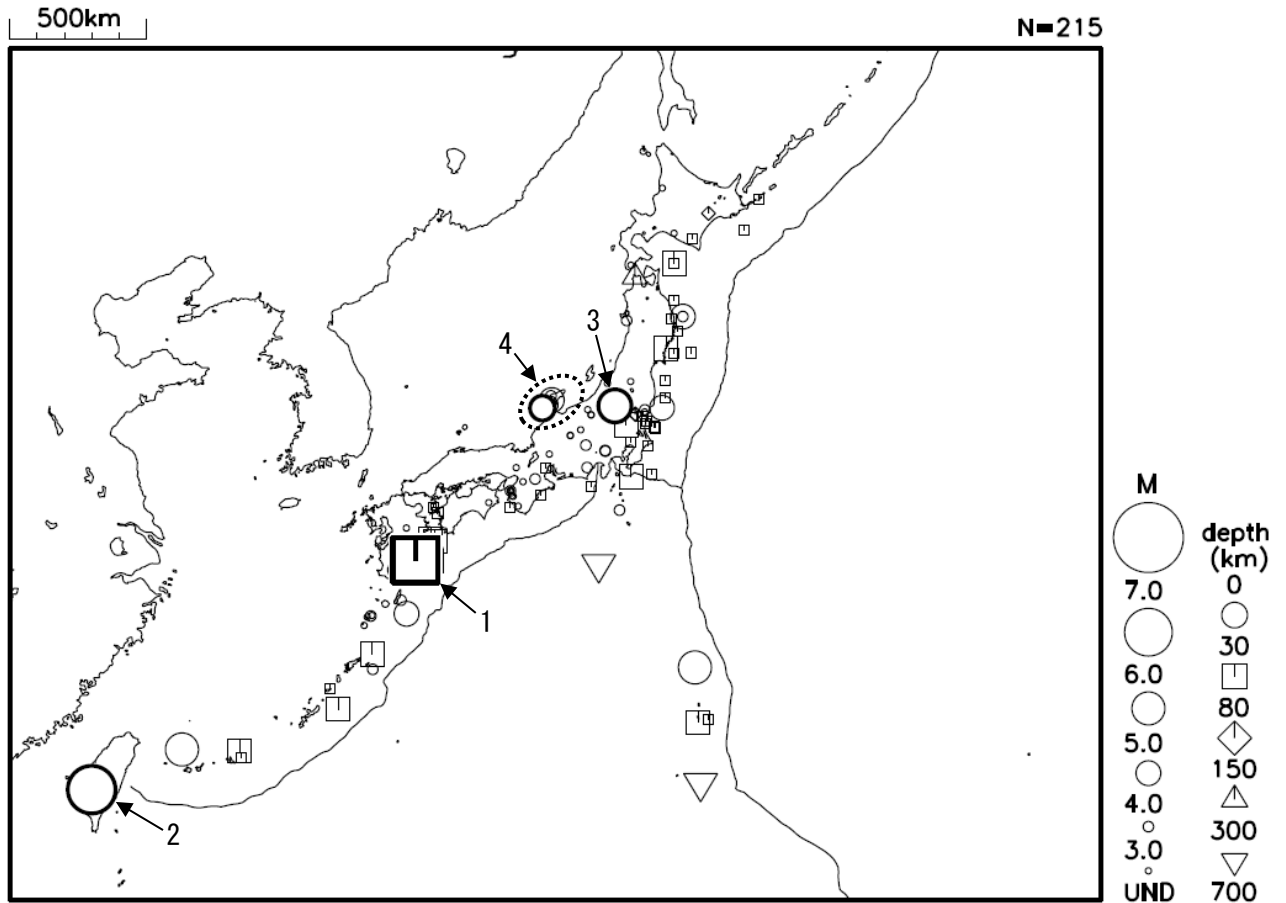


図2 令和7年1月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

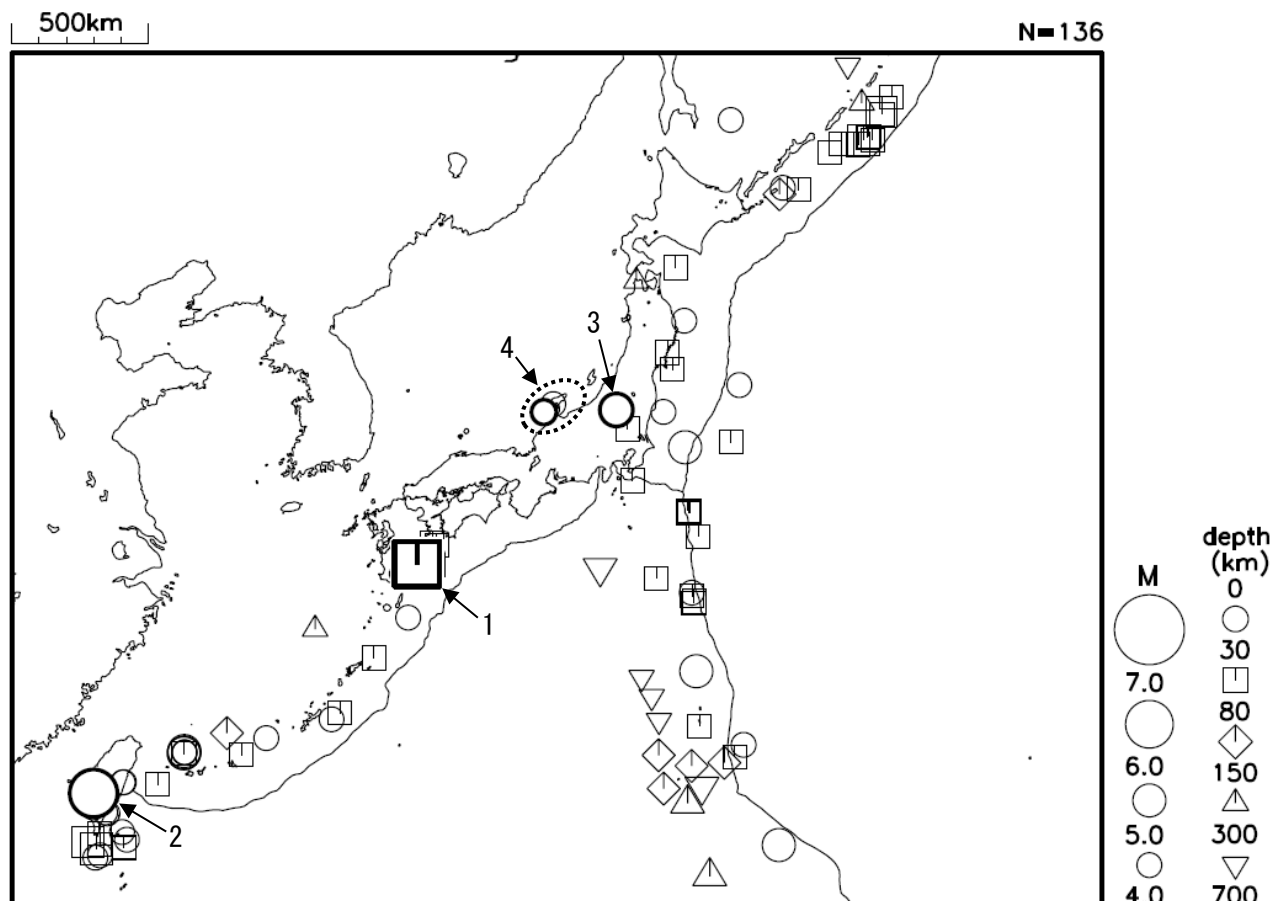


図3 令和7年1月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）